



管理ツール 操作マニュアル

S01-00 共通操作編

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のももの含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	S01-00_0
1.共通操作	S01-00_1
1-1 機能概要	S01-00_1
1-2 起動方法	S01-00_1
1-3 画面構成	S01-00_2
◆メニューバー	S01-00_3
◆ツールバー	S01-00_3
◆ドキュメントウィンドウ	S01-00_4
◆オブジェクト	S01-00_5
◆サブフォルダーの作成	S01-00_5
2.セキュリティ機能	S01-00_6
◆新規作成・登録	S01-00_6
◆編集・削除	S01-00_6
3.ジョブ設定	S01-00_8
◆ジョブの種類	S01-00_8
◆新規作成・登録	S01-00_8
◆編集・削除	S01-00_9
4.スケジュール運用設定	S01-00_10
◆新規作成・登録	S01-00_10
◆編集・削除	S01-00_10
5.共通管理機能	S01-00_12
5-1 バックアップ	S01-00_12
5-2 バックアップの復旧	S01-00_13
5-3 ログビューアー	S01-00_14
◆ログの種類	S01-00_14
◆操作方法	S01-00_15
5-4 接続状況の確認	S01-00_16
5-5 登録情報の出力	S01-00_16
5-6 エクスポート	S01-00_17
5-5 インポート	S01-00_17
6.プロパティの使い方	S01-00_18
6-1 プロパティとは	S01-00_18
6-2 プロパティの設定	S01-00_18
6-3 プロパティからのジョブの実行	S01-00_19

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール

DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス

<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. 共通操作

DataNature Smart 管理ツール(以下、DN 管理ツールと略します)の機能と基本的な操作について説明します。

1-1 機能概要

DN管理ツールは、DataNature Smartの運用を行うための基本設定や環境の管理のほか、製品のライセンスや各種ログ、セキュリティに関連するユーザー情報などの管理を行う機能があります。機能は下記の4つに分類されます。

機能	説明
セキュリティ機能	DataNature Smart の利用者アカウントの登録、DN クライアントツールのメニュー制御など、DataNature Smart を安全に運用するために必要な管理を行います。
ジョブ設定	DN 管理ツールのファイル加工やデータ出力などの機能を、ジョブ(処理)として登録/管理/実行します。
スケジュール運用設定	ジョブを処理の流れに沿って定義したタスクを作成し、Windows のタスクスケジューラーに登録することで指定した時間に実行します。
共通管理	DN 管理ツールの設定情報のバックアップやログ参照などの保守/運用に関する機能です。

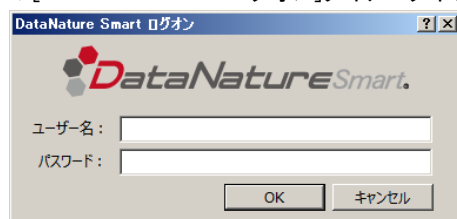
1-2 起動方法

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]–[DataNature Smart]–[管理ツール]をクリックします。



OS のバージョンが Windows Server 2008 以降の場合は管理者としての実行が必要です。[すべてのプログラム]–[DataNature Smart]–[管理ツール]、またはアイコンを右クリックして表示されるメニューより、[管理者として実行]をクリックして起動してください。ユーザーアカウント制御(UAC)から警告メッセージが表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。

▼[DataNature Smart ログオン]ダイアログボックスが表示されます。

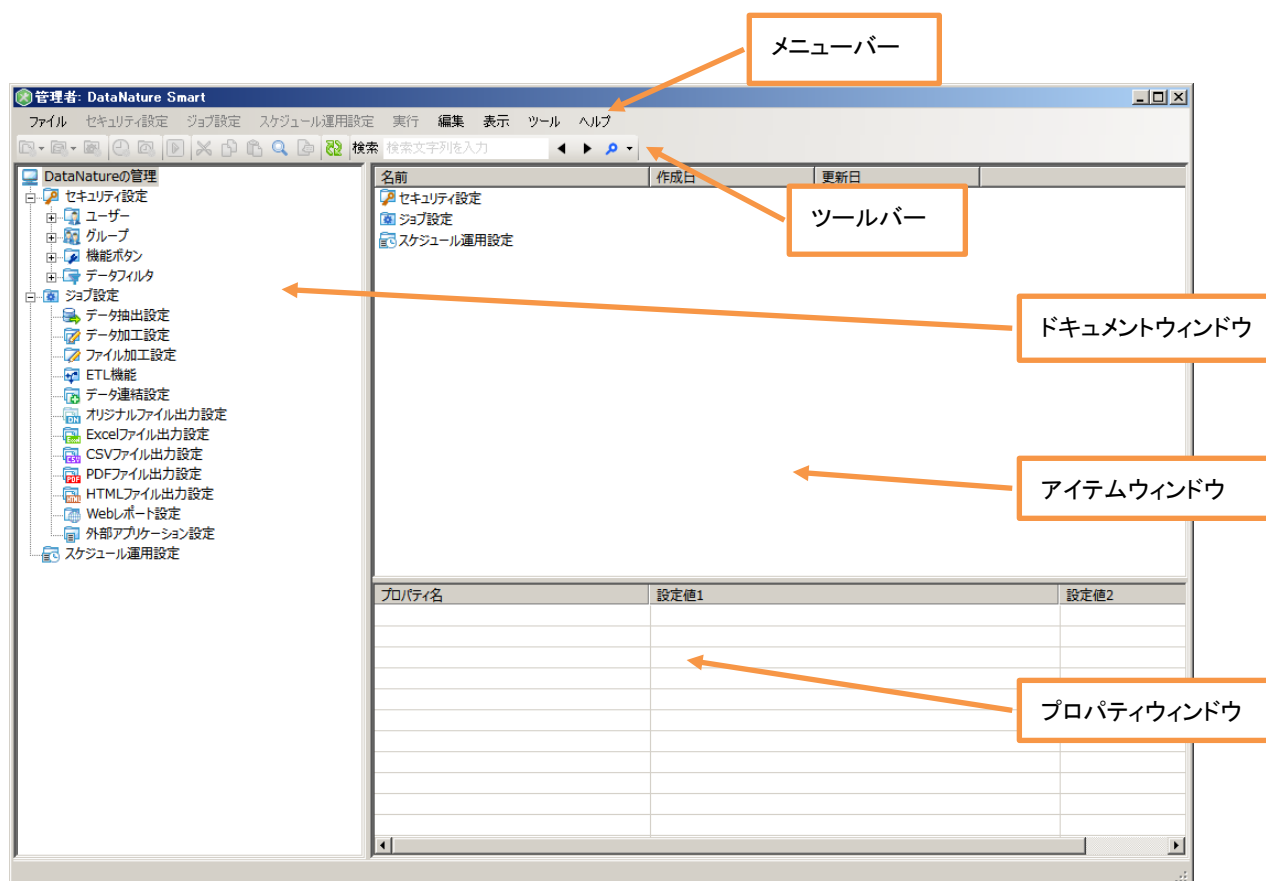


- 2 DataNature Smart の管理者ユーザーのユーザー名とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

1-3 画面構成

DN 管理ツールのメインウィンドウは以下の要素で構成されています。

構成要素	説明
メニューバー	DN管理ツールのメインメニューです。全ての機能を操作できます。
ツールバー	DN管理ツールを操作する際によく利用される機能をアイコンで表示しています。ユーザーによるカスタマイズが可能です。
ドキュメントウィンドウ	DN管理ツールに登録したジョブやスケジュールなどの[オブジェクト]をツリー構造(ツリービュー)で表示します。
アイテムウィンドウ	[ドキュメントウィンドウ]のフォルダー(親要素)をクリックすると、それに属する[オブジェクト](子要素)の一覧を表示します。
プロパティウィンドウ	[ドキュメントウィンドウ]、または[アイテムウィンドウ]の[オブジェクト]をクリックすると[オブジェクト]のプロパティが表示されます。(参照のみ)



ログオンしたユーザーの権限や登録されているライセンスの内容などによって、[メニューバー]、[ツールバー]、[ドキュメントウィンドウ]上で利用できる機能が異なります。詳細はヘルプを参照してください。

◆ メニューバー

DN 管理ツールの全ての機能进行操作できます。メニューバーのカスタマイズはできません。

メニューバーに表示されている機能には、[ドキュメントウィンドウ]のツリービューでの選択状態に連動している機能があり、選択しないと有効にならない場合があります。

メニューバーには以下の項目があります。

名称	説明
[ファイル]	DN 管理ツールの環境のバックアップや復旧の操作が行えます。
[セキュリティ設定]	ツリービュー上の[セキュリティ設定]を選択している場合に有効になります。ユーザーやグループの登録を行います。
[ジョブ設定]	ツリービュー上の[ジョブ設定]を選択している場合に有効になります。ジョブやサブフォルダーの登録を行います。
[スケジュール運用設定]	ツリービュー上の[スケジュール運用設定]を選択している場合に有効になります。各スケジュールやスケジュールフォルダーの登録を行います。
[実行]	ツリービュー上のジョブを選択している場合に有効になります。ジョブを実行します。
[編集]	[コピー]や[貼り付け]などの操作や[プロパティ]の表示を行います。
[表示]	ツリービューの情報を最新の情報に更新します。
[ツール]	DN 管理ツールを運用/管理するに必要な各種設定を行います。
[ヘルプ]	DN 管理ツールのヘルプやサポート情報を表示を行います。



メニューの右端に ▶ アイコンが表示されている場合はクリックするとサブメニューが開きます。



DN 管理ツールにログオンしたユーザーの権限によって操作できないメニュー(機能)はグレー表示されます。

◆ ツールバー

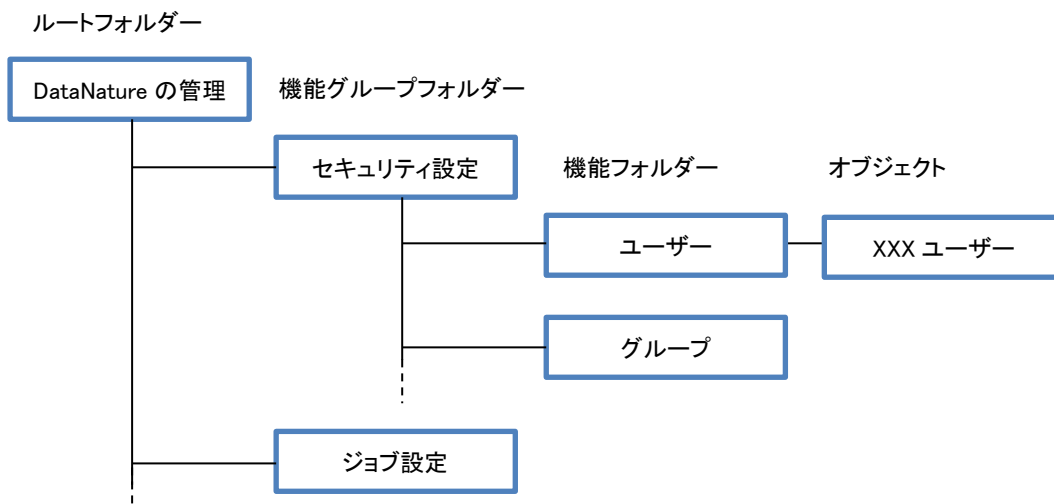
ツールバーには、メニューバーの機能で利用頻度の高い機能がアイコンとして表示されます。メニューバーと同じ機能単位のグループで表示しています。

ツールバーはアイコンの表示/非表示などのカスタマイズが可能です。詳しくはヘルプを参照してください。

◆ ドキュメントウィンドウ

ドキュメントウィンドウでは、登録したジョブやスケジュールなどの[オブジェクト]を、ツリービューで階層的に管理を行います。

ツリーの階層構造として、[ルートフォルダー]-[機能グループフォルダー]-[機能フォルダー]があります。これらの3階層を基本としてツリーは構成されています。これらのフォルダーは、削除や名前の変更ができません。



[機能グループフォルダー]とその配下の[機能フォルダー]には以下の要素があります。

機能グループフォルダー	機能フォルダー	説明
セキュリティ設定	ユーザー	DataNature Smart のユーザーアカウント情報を登録します。
	グループ	グループを登録します。
	機能ボタン	DN クライアントツールのツールバーの制御情報を登録します。
	データフィルタ	データフィルタ機能の設定情報を登録します。
ジョブ設定	データ抽出設定	データベースよりデータを抽出するジョブを登録します。
	データ加工設定	ファイル項目の編集を行うジョブを登録します。
	ファイル加工設定	ファイルの集計/分割を行うジョブを登録します。
	ETL 機能*	ETL オプションのジョブを登録します。
	データ連結設定	複数のデータの連結/結合を行うジョブを登録します。
	オリジナルファイル出力設定	DataNature Smart オリジナルファイルを出力するジョブを登録します。
	Excel ファイル出力設定	Excel ファイルを出力するジョブを登録します。
	CSV ファイル出力設定	CSV ファイルを出力するジョブを登録します。
	PDF ファイル出力設定	PDF ファイルを出力するジョブを登録します。
	HTML ファイル出力設定	HTML ファイルを出力するジョブを登録します。
	Web レポート設定*	Web レポートを出力するジョブを登録します。
	外部アプリケーション設定	外部のプログラムを実行するジョブを登録します。
スケジュール運用設定	-	ジョブのスケジュール実行を行うタスクを登録します。

* 別売の機能オプションが必要です。

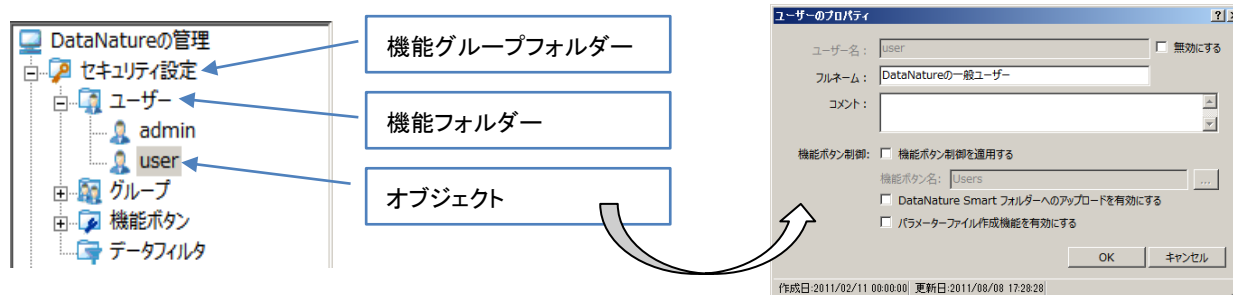


登録した[オブジェクト]は名前順に表示されます。

◆ オブジェクト

DN 管理ツールでは、各機能（ジョブやスケジュールなど）に対応した情報を[オブジェクト]として定義します。[オブジェクト]の情報は[プロパティ]として保持します。定義した[オブジェクト]をツリービュー上の機能フォルダーの配下（またはそのサブフォルダーの配下）に登録します。

[オブジェクト]の登録や変更などの操作を行う場合は、ドキュメントウィンドウのツリービューの機能フォルダーやサブフォルダーおよび[オブジェクト]を選択した状態で行います。選択することにより、機能に対する[メニューバー]のメニューや[ツールバー]のアイコンが使用可能となります。



[オブジェクト]の新規登録や変更などの操作は、[メニューバー]や[ツールバー]およびツリービューを右クリックして表示される[コンテキストメニュー]から行えます。

操作方法	説明
メニューバー	[メニューバー]で表示されるメニューをクリックします。
ツールバー	ツールバーのアイコンをクリックします。
コンテキストメニュー	ツリービューを右クリックして表示されるコンテキストメニューをクリックします。



ユーザーとグループの機能フォルダーには、DN 管理ツールのインストール時に自動作成するユーザーとグループのオブジェクトがあります。これらは削除できません。

◆ サブフォルダーの作成

ツリービュー上の機能フォルダーの下にサブフォルダーを作成できます。企業の組織単位などで作成したサブフォルダー配下に[オブジェクト]を配置することで、[オブジェクト]をグループ管理することができます。



セキュリティ設定の配下にはサブフォルダーを作成できません。

2. セキュリティ機能

DN 管理ツールや DN クライアントツールを使用するユーザーの管理を行います。

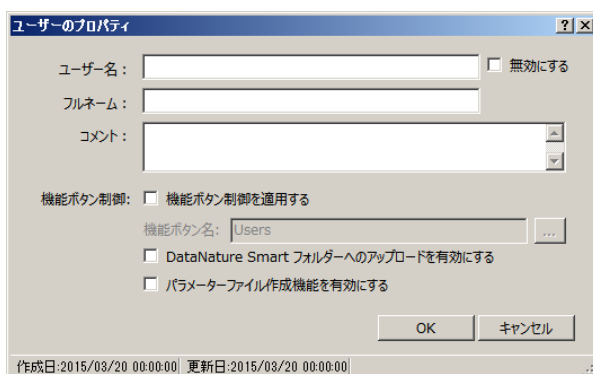
セキュリティ機能では以下の設定を行います。

名称	説明
ユーザー	DN 管理ツールと DN クライアントを利用するユーザーの管理を行います。
グループ	同一の DataNature Smart フォルダを参照するユーザーの集まりをグループとして登録します。
機能ボタン	DN クライアントに表示する機能ボタンを設定します。ユーザー毎に指定できます。
データフィルタ	DN クライアントで使用するデータフィルタの機能を登録します。

◆ 新規作成・登録

ユーザーを登録します。

- 1  DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[セキュリティ設定]ノードをクリックし、メニューバー[セキュリティ設定]-[新しいユーザー]をクリックします。
 ([DataNature の管理]-[セキュリティ設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいユーザー])
 ▼[ユーザーのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

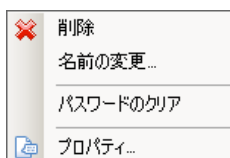


- 2 必要な情報を項目に設定して[OK] ボタンをクリックします。

◆ 編集・削除

ユーザーを変更/削除します。

- 1 DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[ユーザー]-[対象のユーザー]ノード上で右クリックします。
 ▼ユーザーのコンテキストメニューが表示されます。



- ② 変更を行う場合は[プロパティ]をクリックします。
▼[ユーザーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

ユーザーのプロパティ

ユーザー名: sales ☐ 無効にする

フルネーム:

コメント:

機能ボタン制御: ☐ 機能ボタン制御を適用する

機能ボタン名: Users ...

☐ DataNature Smart フォルダへのアップロードを有効にする

☐ パラメーターファイル作成機能を有効にする

OK キャンセル

作成日: 2015/03/20 15:44:35 | 更新日: 2015/03/20 15:44:35

- ③ 項目の内容を変更して[OK]ボタンをクリックします。
- ④ ユーザーを削除する場合は[削除]をクリックします。
削除の確認メッセージが表示されるので[OK]ボタンをクリックします。



ビルトインユーザーの「admin」と「user」は削除することはできません。

3. ジョブ設定

DN 管理ツールで実行するジョブを管理する機能です。

◆ ジョブの種類

DN 管理ツールのジョブは、データの加工を行う[ファイル操作系]と、集計結果ファイルを出力する[データ出力系]に分類されます。

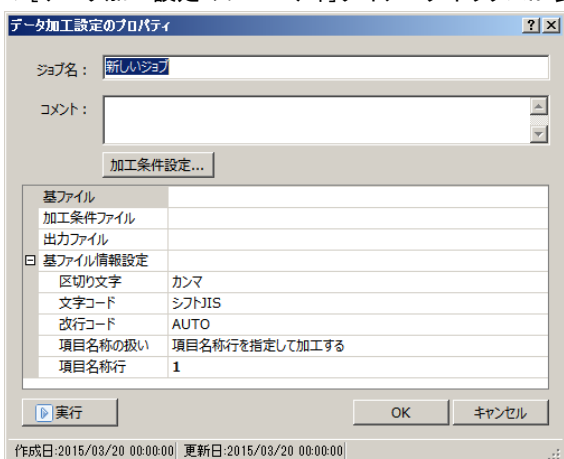
ジョブには以下の種類があります。

分類	ジョブ名称	説明
ファイル操作系	データ抽出	データベースよりデータを抽出するジョブを登録します。
	データ加工	ファイル項目の編集を行うジョブを登録します。
	ファイル加工	ファイルの集計/分割を行うジョブを登録します。
	ETL	ETL オプションのジョブを登録します。
	データ連結	複数のデータの連結/結合を行うジョブを登録します。
	外部アプリケーション	外部のプログラムを実行するジョブを登録します。
データ出力系	オリジナルファイル出力	DataNature Smart オリジナルファイルを出力するジョブを登録します。
	Excel ファイル出力	Excel ファイルを出力するジョブを登録します。
	CSV ファイル出力	CSV ファイルを出力するジョブを登録します。
	PDF ファイル出力	PDF ファイルを出力するジョブを登録します。
	HTML ファイル出力	HTML ファイルを出力するジョブを登録します。
	Web レポート	Web レポートを出力するジョブを登録します。

◆ 新規作成・登録

ここでは、データ加工設定を例に、登録の方法をご紹介します。

- 
 DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブ設定]-[ファイル操作系作成]-[データ加工設定]をクリックします。
 ([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[データ加工設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])
 ▼[データ加工設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



- 必要な情報を項目に設定して[OK] ボタンをクリックします。



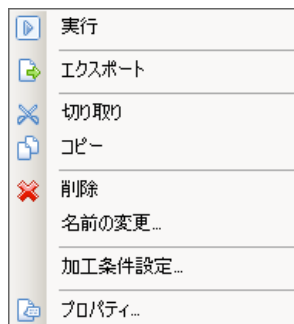
各ジョブ設定の詳細については、ヘルプや操作マニュアルをご覧ください。

◆ 編集・削除

ここでは、データ加工設定を例に、登録済みのジョブの変更と削除の方法をご紹介します。

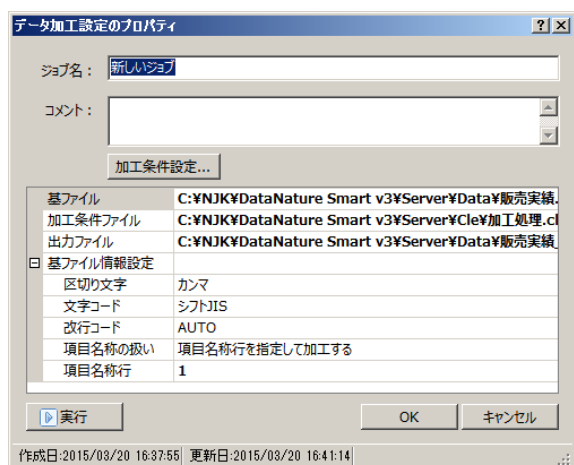
- 1 DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[データ加工設定]-[対象のジョブ]ノード上で右クリックします。

▼データ加工ジョブのコンテキストメニューが表示されます。



- 2 変更を行う場合は[プロパティ]をクリックします。

▼[データ加工設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



- 3 項目の内容を変更して[OK]ボタンをクリックします。
- 4 ジョブを削除する場合は[削除]をクリックします。
削除の確認メッセージが表示されるので[OK]ボタンをクリックします。

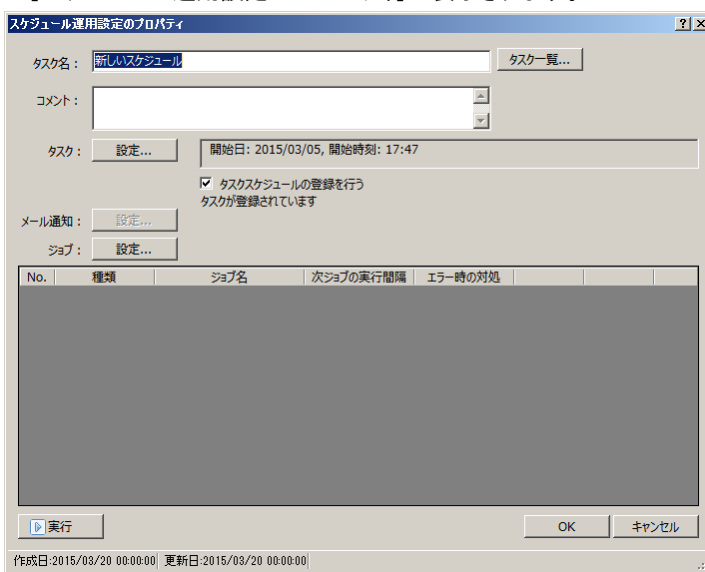
4. スケジュール運用設定

ジョブ設定で登録されたジョブを、処理の流れに沿って定義したタスクを作成します。また、そのタスクをスケジュールとして登録します。Windows のタスクスケジューラーに登録することで指定した時間に実行することもできます。

◆ 新規作成・登録

スケジュールの登録方法をご紹介します。

- 1  DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[スケジュール運用設定]ノードをクリックし、メニューバー[スケジュール運用設定]-[スケジュール作成]をクリックします。
([DataNature の管理]-[スケジュール運用設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいスケジュール])
▼[スケジュール運用設定のプロパティ]が表示されます。



- 2  必要な情報を項目に設定して[OK]ボタンをクリックします。

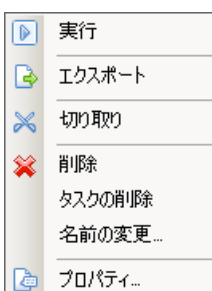


スケジュール運用設定の詳細については、ヘルプや操作マニュアル(S01-15「スケジュール運用設定」)をご覧ください。

◆ 編集・削除

ここではスケジュールの変更と削除の方法をご紹介します。

- 1  DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[データ加工設定]-[対象のスケジュールジョブ]ノード上で右クリックします。
▼スケジュールジョブのコンテキストメニューが表示されます。



- 2 変更を行う場合は[プロパティ]をクリックします。

▼[スケジュール運用設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

No.	種類	ジョブ名	次ジョブの実行間隔	エラー時の対処		
1	データ抽出設定	販売実績抽出	ファイル出力オブシ...	タスクを終了する	詳細設定...	プロパティ...
2	データ加工設定	新しいジョブ	ファイル出力オブシ...	タスクを終了する	詳細設定...	プロパティ...

- 3 項目の内容を変更して[OK]ボタンをクリックします。
- 4 スケジュールを削除する場合は[削除]をクリックします。
削除の確認メッセージが表示されるので[OK]ボタンをクリックします。



DN 管理ツールのスケジュールを削除すると、Windows のタスクスケジュールに登録した情報も削除されます。

5. 共通管理機能

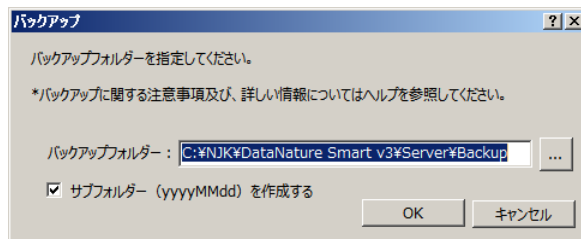
DN 管理ツールの運用や保守を行う機能です。

5-1 バックアップ

DN 管理ツールに登録されている情報のバックアップファイルを作成します。バックアップファイルを作成しておくことで問題が発生時の復旧やシステム移設などの作業を安全に行えます。

- 1 DN 管理ツールのメニューバー[ファイル]-[バックアップ]をクリックします。

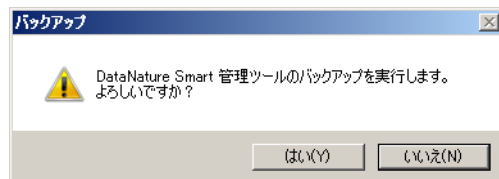
▼[バックアップ]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 バックアップファイルの出力先のフォルダーを指定します。指定したフォルダーにサブフォルダーを作成する場合は[サブフォルダー (yyyyMMdd) を作成する]をチェックオンします。

- 3 [OK]ボタンをクリックします。

▼バックアップの実行確認メッセージが表示されます。



- 4 処理を実行する場合は[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

- 5 完了メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。



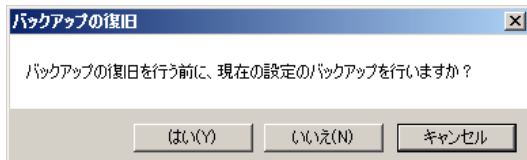
バックアップの対象外になる情報もあります。詳細についてはヘルプを参照してください。

5-2 バックアップの復旧

バックアップファイルを使って、バックアップを行った時点の環境に復旧できます。

- 1 DN 管理ツールのメニューバー[ファイル]-[バックアップの復旧]をクリックします。

▼復旧前の登録情報のバックアップの実行確認メッセージが表示されます。



○バックアップの復旧を行う前にバックアップを行う場合は[はい(Y)]をクリックします。

→バックアップを作成するフォルダーを指定してから、次へ進みます。

○バックアップを行わない場合は[いいえ(N)]をクリックします。

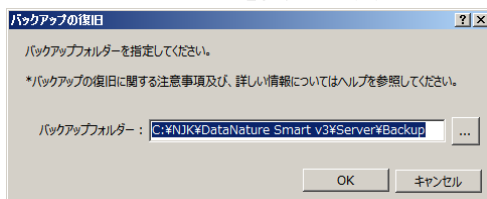
→次へ進みます。

○バックアップの復旧を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

→バックアップの復旧を終了します。

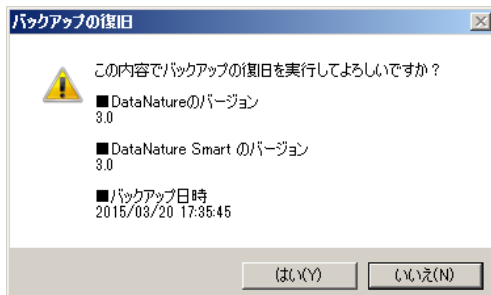
▼復旧対象のバックアップフォルダーを指定するためのダイアログが表示されます。

([はい(Y)]を選択した場合は、S01-00_12「5-1 バックアップ」と同じ手順でバックアップを作成してから、復旧対象のバックアップフォルダーを指定します。)



- 2 復旧対象のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定して、[OK]ボタンをクリックします。

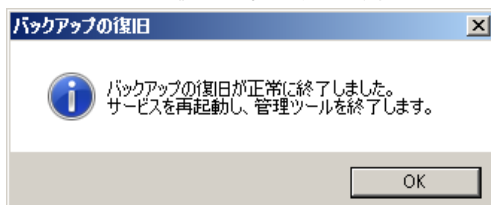
▼バックアップの復旧の実行確認メッセージとバックアップファイルの情報が表示されます。



- 3 バックアップの復旧を実行する場合は[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

- 4 完了メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。

▼バックアップの復旧が終了すると、管理ツールが終了しますので、再度起動し復旧状態をご確認ください。

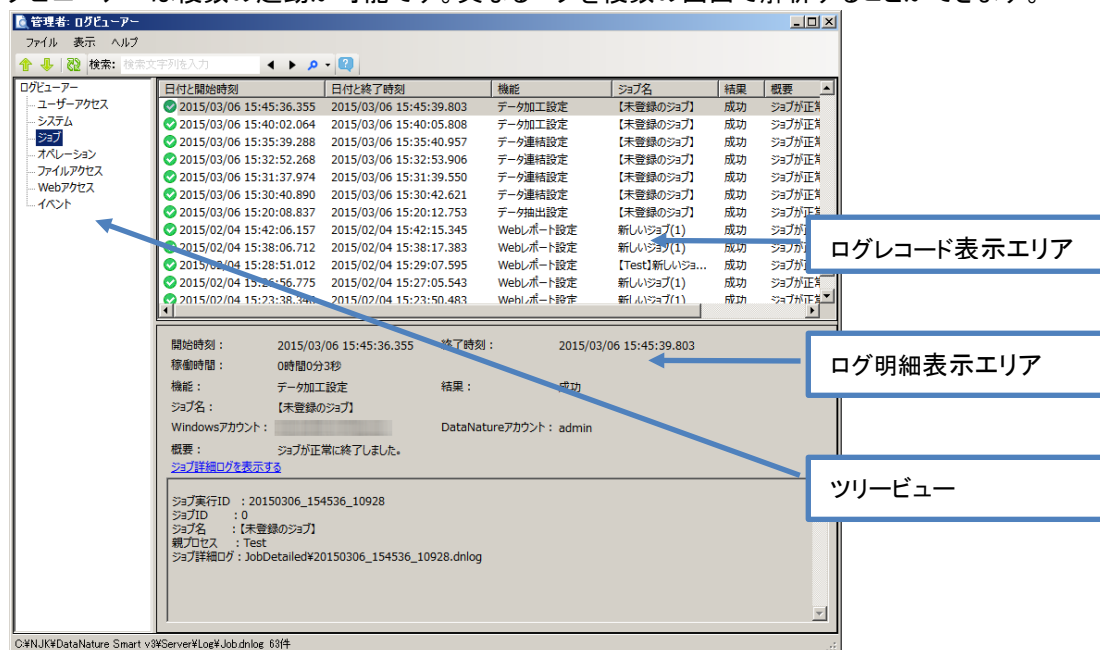


5-3 ログビューアー

DataNature Smart が出力したログを参照するツールです。

ログビューアー画面は、ログ名称を表示する[ツリービュー]、[ログレコード表示エリア]、[ログ明細表示エリア]で構成されています。

ログビューアーは複数の起動が可能です。異なるログを複数の画面で解析することができます。



◆ ログの種類

表示されるログには以下の種類があります。

名称	説明
ユーザーアクセス	DN クライアント、および、Web レポートのログイン情報※1 が表示されます。
システム	DN 管理ツール-DN クライアント間の通信情報が表示されます。
ジョブ	DN 管理ツールで実行したジョブの履歴が表示されます。
オペレーション	DN 管理ツールの操作履歴を表示します。
ファイルアクセス	DN クライアントでアクセスしたファイル情報を表示します。
Web アクセス	Web レポートページのアクセスに関する情報※2 を表示します。
イベント	Windows のイベントログから DataNature Smart 関連のアプリケーションログを表示します。

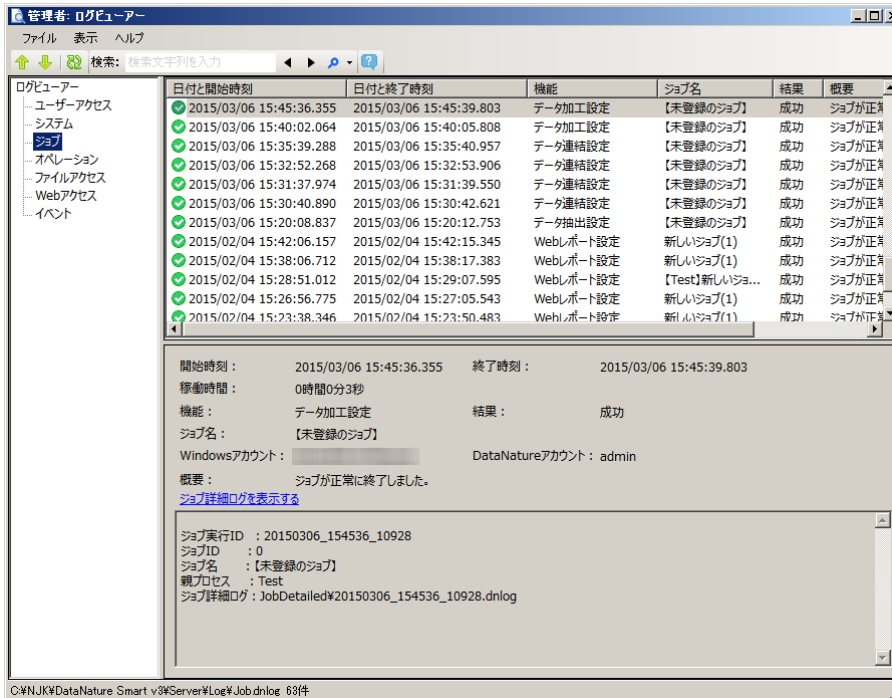
※1: Web レポート機能オプション導入時、ログイン認証機能が有効な場合のみ表示されます。

※2: Web レポート機能オプション導入時に有効となります。詳しくは、操作マニュアル(S01-12「Web レポート設定: 管理ツールの設定編」)をご覧ください。

◆ 操作方法

- ① DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[ログビューアー]をクリックします。

▼[ログビューアー]ダイアログボックス表示されます。



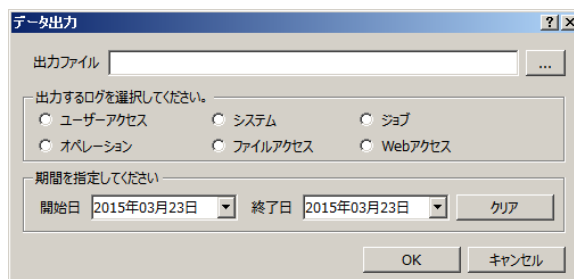
- ② [ログレコード表示エリア]に表示されたログレコードをクリックすると、[ログ明細表示エリア]にログの詳細情報が表示されます。
- ③ [ジョブ]のログの場合、[ログ明細表示エリア]に表示されている「ジョブ詳細ログを表示する」をクリックすると[ジョブ詳細ログ]ダイアログボックスが表示され、ジョブ実行結果の詳細ログを確認することができます。



表示されているログは自動更新されません。メニューバー[表示]-[最新の情報に更新]で最新のログを表示してください。



メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[テキストファイル]をクリックすると表示される[データ出力]ダイアログボックスにて、各ログファイルをテキストファイルに出力することができます。



- ▼出力ファイル欄で、出力先とファイル名を指定します。
- ▼出力対象とするログをラジオボタンで選択します。
- ▼出力対象とする期間を指定します。
- ▼設定後、[OK]ボタンをクリックします。

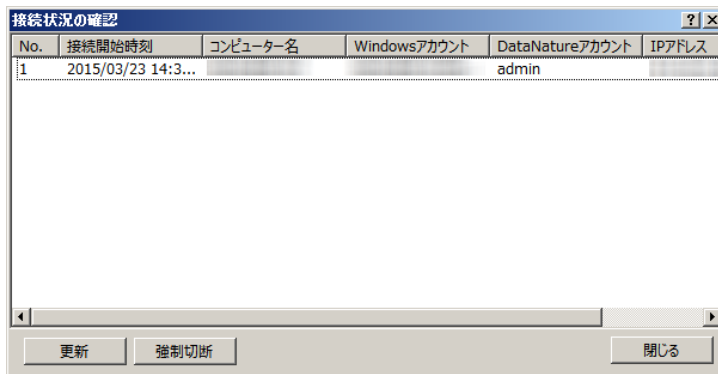
5-4 接続状況の確認

現在、ログオンしている DN クライアントツールの情報を表示します。

[接続状況の確認] ダイアログボックスには、現在ログオンしている DN クライアントツールの端末情報やユーザー情報が表示されます。表示された情報は自動更新されません。[更新]ボタンをクリックして最新の情報に更新する必要があります。

- 1 DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[接続状況の確認]をクリックします。

▼[接続状況の確認]ダイアログボックス表示されます。



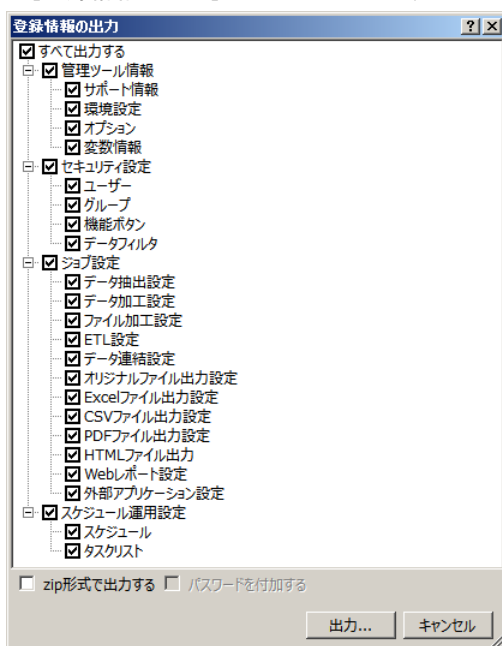
- 2 DN 管理ツールから DN クライアントを強制切断する場合は、切断対象のクライアントを選択して[強制切断]ボタンをクリックします。

5-5 登録情報の出力

DN 管理ツールに登録されている情報を HTML 形式ファイルに出力します。出力した HTML ファイルは Web ブラウザーなどでの参照が可能です。

- 1 DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[登録情報の出力]をクリックします。

▼[登録情報の出力]ダイアログボックス表示されます。



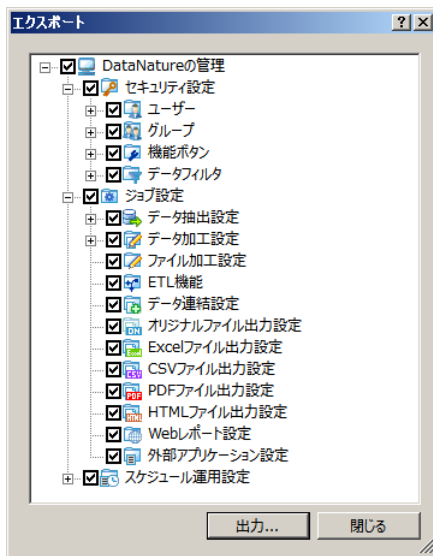
- 2 ツリーに表示されている情報名から、出力対象の情報をチェックオンします。

- ③ [出力]ボタンをクリックします。
- ④ 登録情報の出力先フォルダーを選択して[OK]ボタンをクリックします。

5-6 エクスポート

DN 管理ツールに登録した[オブジェクト]を個別にエクスポートします。エクスポートした情報はバックアップとして保存したり、他の PC 環境に登録情報を移設する場合に利用できます。

- ① DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[エクスポート]をクリックします。
▼[エクスポート]ダイアログボックス表示されます。[エクスポート] ダイアログボックスにはエクスポート可能な DN 管理ツールの情報名がツリー形式で表示されます。



- ② ツリーに表示されている情報名から、出力対象の情報をチェックオンします。
- ③ [出力]ボタンをクリックします。
- ④ エクスポートファイルの出力先フォルダーを選択して[保存]ボタンをクリックします。

5-7 インポート

エクスポートファイルを DN 管理ツールに取り込みます。

- ① DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[インポート]をクリックします。
▼[インポート]ダイアログボックス表示されます。



- ② エクスポートファイルの保存先フォルダーを指定します。
- ③ [実行]ボタンをクリックします。

6. プロパティの使い方

ここでは DN 管理ツールの[オブジェクト]が保持する[プロパティ]について説明します。

6-1 プロパティとは

DN 管理ツールでは、ユーザー情報やジョブ情報を[オブジェクト]として管理します。[オブジェクト]の名称やパラメータなど、[オブジェクト]の機能・性質を示す情報を[プロパティ]と呼びます。[オブジェクト]には機能毎に[プロパティ]が存在します。

【例】データ加工ジョブのプロパティ

プロパティ名	設定値1
管理ID	1028
ジョブ名	データ加工処理
コメント	
属性	一般
基ファイル	C:\NJK\DataNature Smart v3\Server\Data\販売実績.csv
加工条件ファイル	C:\NJK\DataNature Smart v3\Server\Cle\加工処理.clex
出力ファイル	C:\NJK\DataNature Smart v3\Server\Data\販売実績_加工.csv
区切り文字	カンマ
文字コード	シフトJIS
改行コード	AUTO
項目名称行の扱い	項目名称行を指定して加工する
項目名称行	1行目
 このジョブを使用するスケジュール	新しいスケジュール
作成日	2015/03/20 16:37:55
更新日	2015/03/23 14:37:49

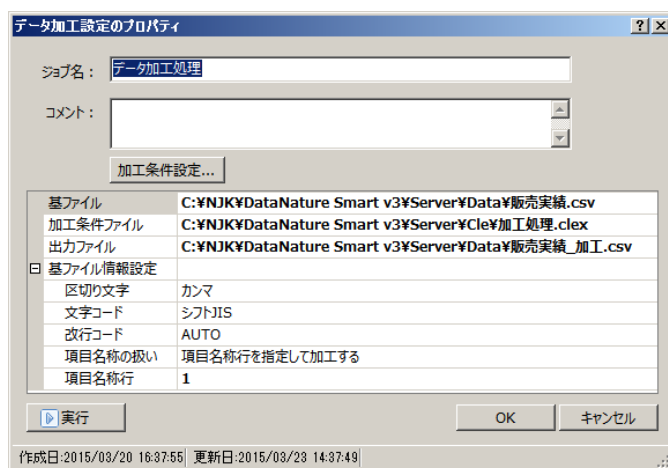
6-2 プロパティの設定

[プロパティ]の設定は[プロパティ設定]ダイアログボックスから行います。設定する[オブジェクト]の機能により[プロパティ]は異なります。

新規にジョブ設定などの[オブジェクト]を登録する場合は、必ず[プロパティ設定]ダイアログボックスが開きます。[プロパティ]の設定内容を変更する場合は、以下の方法で[プロパティ設定]ダイアログボックスを開きます。

No	方法
1	変更する[オブジェクト]を選択して、[メニューバー]から[編集]-[プロパティ]をクリックする。
2	変更する[オブジェクト]を選択して、[ツールバー]の[プロパティアイコン]をクリックする。
3	変更する[オブジェクト]をダブルクリックする。
4	変更する[オブジェクト]を右クリックして、表示されたコンテキストメニューの[プロパティ]をクリックする。

【例】データ加工設定のプロパティ



データ加工設定のプロパティ

ジョブ名: データ加工処理

コメント:

加工条件設定...

基ファイル	C:\NJK\DataNature Smart v3\Server\Data\販売実績.csv
加工条件ファイル	C:\NJK\DataNature Smart v3\Server\Cle\加工処理.clex
出力ファイル	C:\NJK\DataNature Smart v3\Server\Data\販売実績_加工.csv
基ファイル情報設定	
区切り文字	カンマ
文字コード	シフトJIS
改行コード	AUTO
項目名称の扱い	項目名称行を指定して加工する
項目名称行	1

実行 OK キャンセル

作成日:2015/03/20 16:37:55 更新日:2015/03/23 14:37:49

[プロパティ設定]ダイアログの入力項目に以下のボタンが表示されている箇所があります。入力をサポートするダイアログボックスなどが表示されます。

ボタン	説明
	コモンダイアログボックスが表示されます。ファイルやフォルダーのパスを指定する項目に表示されます。
	プルダウンリストが開きます。表示されたリストから選択する項目に表示されます。

6-3 プロパティからのジョブの実行

ジョブ設定は [プロパティ設定]ダイアログボックスから実行できます。[オブジェクト]を DN 管理ツールへ登録しなくても実行可能なので、一時的なデータ加工やジョブの試験実行に使用できます。